

### 日本文学誌要 83巻 : 目次

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国文学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要 / 日本文学誌要

(巻 / Volume)

83

(開始ページ / Start Page)

2

(終了ページ / End Page)

3

(発行年 / Year)

2011-03

## 目次

## 〈追悼〉

春鶯の光景……………

鈴木日出男……………

(五)

益田先生、有難うございました。……………

勝又浩……………

(七)

益田勝実先生 ありがとうございます……………

西野春雄……………

(九)

益田さんの文章とコーヒーと中国文学……………

安藤信廣……………

(一一)

益田先生のこと……………

田中単之……………

(一三)

先生の手……………

浜田弘美……………

(一五)

一九六〇年六月十五日の益田勝実……………

糸井久……………

(一六)

師父……………

成島知子……………

(一八)

〈学習の創造〉というロマン……………

幸田国広……………

(二〇)

春日野の、飛火の野守出でて見れば、いまいく程ぞ若菜摘む……………

今泉隆裕……………

(二二)

〈論 文〉「法友」の恋—宇治十帖の目論み……………

天野紀代子……………

(二四)

都市の大物主—崇神朝の崇り神伝承をめぐって……………

坂本 勝……………

(三五)

\* \* \* \*

〈卒業論文〉『源氏物語』と催馬楽〈我家〉……………

—「来ざらましかば」の解釈をめぐって……………

関根 由佳……………

(四五)

催馬楽〈葛城〉考……………

堀部麻衣子……………

(五六)

# 日本文學誌要

第83号

坂口安吾「桜の森の満開の下」論……………吉元 一真……………(七四)

遠藤周作が見た「神」と「人間」

—『沈黙』キチジローにみる「弱者」の意味—……………船曳 紀子……………(九三)

「よるべなさ」の先に—『抱擁家族』論—……………北島 咲江……………(一〇三)

〈書 評〉園明美 著『王朝撰関期の「妻」たち—平安貴族の愛と結婚—』……………河野 かやの……………(一一五)

相馬庸郎 著『日野啓三—意識と身体の作家—』……………伊藤 博……………(一一八)

二十一世紀における〈精神のリレー〉の継承

立石伯 著『ドストエフスキの〈世界意識〉

—その文学・人間・思想・社会観の小宇宙—……………藤村 耕治……………(一二一)

〈新刊紹介〉……………千野明日香 著『中国のことわざ』……………(一二四)

加藤昌嘉・中川照将 編『テーマで読む源氏物語論(4)紫上系と玉鬘系—成立論のゆくえ—』

〈彙 報〉法政大学国文学会彙報 二〇一〇年度……………(一二五)

〈法政大学国文学会会則〉……………(一二〇)

〈投稿要項〉……………(一一三)

## 追 悼

追悼 表章先生……………西野 春雄……………(一二六)